

# 脚下照顧

## 『カズとカブの関係』



やりました！我が阪神タイガースが、最大12ゲーム差の最下位から奇蹟の首位に立ちました！！(9月8日現在)  
岡田監督の地道な、選手を信頼する采配がやっとシーズン終盤で花開いてきたのではないのでしょうか？

『地道にコツコツ』がやはり野球の世界でもキーワードなのかもしれません。

私が好きだった往年の野球選手で、80年代から90年代に活躍した『山本和範』

別名『カズ・山本』という選手がいます。(みなさん、覚えていますか？)

1977年に近鉄に入団し、5年後に解雇され、それでもあきらめず1年間バッティングセンターでアルバイトしながら、翌年ホーク스에テスト入団、95年までホーク스에在籍し退団、再度近鉄にテストを受け合格、入団し、99年、42歳まで現役を続けた、左打者でライトスタンドに弾丸ライナーの美しいホームランを突き刺す、とても印象的で味のあるバッターでした。

彼が試合が終わってから球場から引き揚げる途中の通路にはたくさんのファンが待っていて、声援を送るのですが、『おっさん！がんばれよ～』という声援に対して、『おまえも がんばれよ～』と返すことで有名で、この関西特有の掛け合いがとても好きで気に入っていました。

一見とてもコミカルなやり取りに聞こえますが『俺にがんばれと言う前に、お前こそがんばれ！！』という励ましは、日々精進し続けている男だからこそ言える金言ではないのでしょうか？

カズ・山本は現役最後の打席をなんと、ホームランで飾りました。それは自身175号目のホームランであり、1400本目のヒットでした。渋い！渋すぎる！！

一生が一度であるなら、こういう渋い、ボロボロに渋い男を目指したいものです。

今、政治家がどうしたとか、芸能人がどうしたとか、他人のあらに目くじらを立てて、スッキリする風潮がお茶の間に蔓延していますが、その前にまず、自分たちの日々の日常がこのままで本当に良いのか考えてみる必要があるのではないのでしょうか？

我々の現場で考えると、なんとなく使用してしまっているサンダーも振動工具に分類され、使用する為には『振動工具取り扱い作業者特別教育』の資格が必要であり、と石が減ったので交換したいと思えば『自由研削と石特別教育』の資格が必要となります。なおかつそのサンダーがエア式ではなく電動式であれば『感電防止特別教育』の資格がなくてはならず、もっと言えば、そのサンダーを使用して粉塵が発生すれば『粉塵作業特別教育』の資格が必要です。

政治家がどうしたとかけしからんとか言ってる場合ではありません。すべての事を法に則って厳密にとらえていけば、我々も大忙しになります。たまたま何も無いからなんとなく過ごしているだけです。

我々にとってあり得ない事ですが、フォークリフトの運転を無資格で行って事故を起こし、1億円以上の賠償請求をされたという話を聞いたことがあります。

何かあってからでは遅いのでコツコツと渋く行きませんか？実は10年かけてほとんどの特別教育の講師の資格を取得しました！！『振動』も『自由と石』も『感電』も『粉塵』も全部、特別教育はテクアの2Fの研修道場で取得可能です。

『わしもやるからあんたもやるや！』日本全体がこんな合言葉で盛り上がると、きっと株価もカズ・山本選手の弾丸ライナーのように上昇していくのではないのでしょうか？

感謝 羽原篤史

